

介護総合演習 学習指導案

実施日	令和 年 月 日 () 校時	場所	2年 組
対象生徒	福祉科 2年 組 (コース) 24名	指導者	真田 龍一
生徒観(生徒の実態)			
教材観 (大単元)	科目 「単元名」	地域福祉、地域課題を考える	
	目 標	【知識・技術】 地域課題について理解することができる。 【思考力・判断力・表現力】 地域の一員として地域貢献できることを考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 地域福祉について主体的に考え、地域の一員として取り組むことができる。	
	指導内容 (活 動)	1. 地域福祉の理解 2. 地域課題の理解	
指導観 (本時)	題材名	地域課題の理解 (本時：3時間中の2時間目)	
	ねらい (目標)	【評価①】 地域課題の解決について理解することができる。(知識・技術) 【評価②】 地域の一員として、地域課題の解決のための取り組みについて考えることができる。(思考力・判断力・表現力) 【評価③】 地域課題と解決について主体的に意見交換することができる。(主体的に学習に取り組む態度)	

【本時の展開】

段階	学習活動・学習内容	指導上の留意点	観点別評価
導入 (5分)	1 挨拶、出席確認		
	2 前時の復習と本時のねらい、内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・前時で意見交換された地域課題について確認する ・ワークシートの確認する 	【評価①】 方法：観察
展開 (35分)	3 本校福祉科でどのような活動や取り組みを行っているか、これまでの学校生活を振り返って考える。	(例) 専門教科の座学、介護実習、ボランティア活動、町内会活動、交流会、大雪、公共交通機関など	【評価①②】 方法：観察・ワークシート
	4 3で考えた内容をグループに分かれて共有する。 ・一人ずつ意見を発表し、出した意見を付箋に書いて模造紙へ貼る	<ul style="list-style-type: none"> ・5グループに分ける(4人～5人) ・模造紙、付箋を配布する ・グループワークルールの確認 ・一人ひとりが発表することができるよう促す ・他者の意見に対して肯定的に考えることができるよう促す 	【評価①②③】 方法：発表・観察・ワークシート

	<p>5 前時で話し合った地域課題と福祉科での活動の関係についてグループで話し合う。</p> <p>6 5から自分たちの地域における役割をグループで考える。</p>	<p>・模造紙と付箋を使って整理させる</p> <p>・3～5で出した意見をもとに考えさせる（地域人材の確保、高齢者支援、魅力発信など）</p>	<p>【評価①②③】 方法：発表・観察・ワークシート</p> <p>【評価①②③】 方法：発表・観察・ワークシート</p>
まとめ（10分）	<p>7 各グループで話し合った内容を全体発表する。</p> <p>8 今後の流れの確認。 ・次時までにはワークシートを記入して提出</p>	<p>・伝えたい内容をわかりやすく伝えられるよう、まとめ方を示唆する</p> <p>・模造紙を活用してもOK</p> <p>・1グループ1～2分で発表</p> <p>・各グループの発表を聞いて、発見したことや気づいたことを含めて、ワークシートの「地域のために自分ができること」を記入し提出することを伝える</p>	<p>【評価②③】 方法：発表・観察・ワークシート</p> <p>【評価①②】 方法：ワークシート</p>

【評価基準】

観点 \ 評価基準	A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する) ※支援の手立て
【知識・技術】	地域課題についてその要因等を考え具体的に理解することができる。	地域課題について理解することができる。	地域課題について理解することができない。 ※地域の困りごとについて事例などを取り扱い、身近なところから考えることができるよう助言する。
【思考力・判断力・表現力】	地域の一員としての役割について、地域課題と関連付けて具体的に考えることができる。	地域の一員としての役割について考えることができる。	地域の一員としての役割を考えることができない。 ※普段の活動と地域課題との関係について助言する。
【主体的に学習に取り組む態度】	グループワークにおいて積極的に発言を行い、他者の意見にも耳を傾けることができる。	グループワークにおいて、自身の考えを伝えることができる。	グループワークにおいて自身の考えを伝えることができない。 ※グループ内で発言の機会が作られるよう促す。